

北茨城市議会議員一般選挙

投票日 **3月23日** (日)
午前 **7** 時から午後 **6** 時まで

当日は、お住まいの地域にかかわらず投票できる**共通投票所**を設置します。
是非ご利用ください(期日前投票所と同じ3か所に設置します)。

いづさ文芸家団団員

設立し理事長に就任

72歳

期日前投票は

3月17日(月)から3月22日(土)まで

○北茨城市役所
○ヨークベニマル中郷店駐車場内
○北部市民サービスセンター

午前8時30分から午後8時まで
午前9時から午後8時まで
午前9時から午後8時まで

投票・開票に関する詳しい情報は、
市ホームページでご確認いただけます。

🔍 北茨城市 市議選 で検索！



令和7年3月23日執行

北茨城市議会議員一般選挙公報

北茨城市選挙管理委員会

豊かなまちへ 熱い想いで郷土のために
市民と市政の架け橋に

- 昭和33年8月22日生まれ
- 県立日立第一高等学校卒業
- 昭和56年日本メクトロン株式会社入社
- 平成9年同社退社

・北茨城市議会議員（4期）〔現〕

敗匪

1952年 北茨城市大津町生まれ
・ 尚松本電建代表取締役（元）
・ 社北茨城青年会議所理事長（元）
・ 北茨城国際交流会（KIFA）会長（元）
・ 大津小学校PTA会長（元）
・ 北茨城市議会議員（4期）（現）

滝ひろく 50歳

しばた
柴田きくえ

ケマナージャー歴10年

幸福実現党公認
茨城県立水戸高等学校卒業、HSU上米創造学部短期特進課程 政治・経済学系専攻コース卒業 ●帝京大学
電話交換手・高次高校・環境工場・創和興業・農協(JA)介護事業部、とまのた・障がい者施設など支援
認知症対応型施設「スマイルパルク」高次高校 管理者、介護士として6年間 ケマナージャー、唐土色合介護支
務所管理(大津町)●認知症ケアアドバイザー、不登校児支援スクール「文雅会」担任員、障害児自
立「ユア・エンタープライズ」北城邦直●2017年茨城県市議員初当選、又教職厚生委員会、総務委員会副委員長

鈴木 たくみ

献身一途 みんなのために

業に従事

シルバリーハビリー体操3級指導士
市議会議員1期(令和3年3月当選)

の再生に引き続き取り組みます。

4 活動報告会の開催
皆様と行政との間を近づけるため、活動報告会を開催します。

滝ふみひろ

○産業の活性化と健全財政の確立

豊田海洋

くまだ栄さかえ

- 体幹と集中力を高める「スラックライン」で身体と心の

ろばん塾の家庭に生まれ、学習塾勤務や青年会議所
 少年育成事業などを経て教育について深い関心を持
 ようになる。また、豪州やニュージーランドでの放
 の旅や、青年会議所海外支援研修事業の経験、ロー
 ークラフ活動によりグローバルな視点でまちづく
 を考える。

①の實現を批准する

- 北茨城の魅力を生かしたインバウンド(

提言の詳細はこちらからどうぞ



鈴木やす子
日本共産党

の参画と福祉の増進に努めること
と、私・鈴木やす子は、安心な
故郷、やさしい街をめざして発言
し、活動してまいりました。

国は軍事予算ばかりを増やし、
福祉・医療・介護は置き去りです。
真金で動く政治を変えましょう。
市民の声をぶつけて、「モノ」言う議
員としてがんばります。

●学校体育館にエアコン●
中学入学時の経費助成●地
域公共交通の拡充●水害防
止へ河川整備、豪雨対策●
補聴器に補助●介護保険・
国保引下げ●米不足は政治
災害、農業の再生を●東海
第二原発廃炉、自然エネの
推進●税金は暮ら
し教育・福祉に

【略歴】北海道旭川市出身。星は働き
ながら、東京都立大学(夜間)卒業。専

ひたむき、全力

ひるた
千香子 ちかこ

PROFILE

生家北公明
 活生北公明
 信徳城2城党
 成成市7市公
 大市党
 5期
 誠夫・司2期
 ・、月
 大男
 知勉
 在5日
 生
 ・感謝

目指す！政策ビジョン10

福祉	誰一人取り残さない 安心して暮らせる福祉	環境	人と自然が共存出来、 持続可能なまちづくり
医療	帯状疱疹・RSウイルス 接種費用の助成と拡充	産業	商工漁業の発展と雇 耕作放棄地の有効活用
子育て	結婚・出産・子育て 切れ目ない支援体制構築	観光	観光資源の開発と情 信で人て賑わうまち
教育	誰もが輝ける人間性豊かな 教育環境の向上！	交通	公共交通の充実 交通弱者の利便性向上
防災	防災力UP！ 災害に強いまちづくり	行政	DXを推進し市民ファ 満足度の高い市政実現

ひるたの書き
 LINE QRコード



来年、令和8年3月31日。北茨城市は市政移行70年の節目を迎えます。

2014年に発表された消滅可能性都市。

北茨城市も例外ではなく、2050年までに消滅している可能性が高いといわれています。

しょうがない、どうしようもないといったあきらめに似た感情を抱えながら北茨城市がなくなるのを待つときではないでしょうか。

これからの北茨城市は度々なく危機を乗り越えてきました。

炭鉱産業の衰退、昭和52年台風11号による大災害、昭和61年台風10号による大きな被害、平成5年いきき市沖ノ戸一事故の流出による被害、平成14年平潟漁港の不発弾処理、平成23年東日本大震災による東日本の大災害、令和5年豪雨災害。

ここまでの北茨城市の発展は、多くの先人の力やたが地域の人々の困難を乗り越えてきた知恵と経験、より理想のものづくりの希望と希望を打ちたためる努力を続けてこられた成果だと思います。

昭和40年前、炭鉱の閉山により1000人の児童・生徒数が200人に減ってしまいました。残された人々は、暮らしと地域に貢献があり「おらが学校」という意識が強く、児童・生徒数が少ないなりに地域に密着して学校を維持したそうです。

皆様は、「おらが学校」を地域で支えておられます。子供たちに教えてほしい「知恵と経験」があります。

子供たちに感じてほしい「絆」があります。子供たちに学んでほしい「歴史と文化」があります。

大好きな北茨城市を10年後も、20年後も守っていくために。市民の皆様と共に考え、共に進んでいきたいと思っています。

「あなたが幸せで、あなたが笑顔で」と皆が日々願える町を目指して、一緒に北茨城市を考えましょう。

防 災 防災力の向上を図り災害に強いまちづくり


 KOMEITO
公明党
 フロアール
 ● 昭和38年10月2日生
 ● 北茨城市中郷町栗野在
 ● 県立高萩高校卒業、芝浦
 ● 市議会5期、元副議長、
 ● 公明党北茨城支部長

豊田
こうしゅん
61才

福祉の充実 子育て教育 防災対策 まちの活性化 行政、議会のDX化推進

くつざわ和彦 かずひこ

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版により縮小して印刷したものです。)